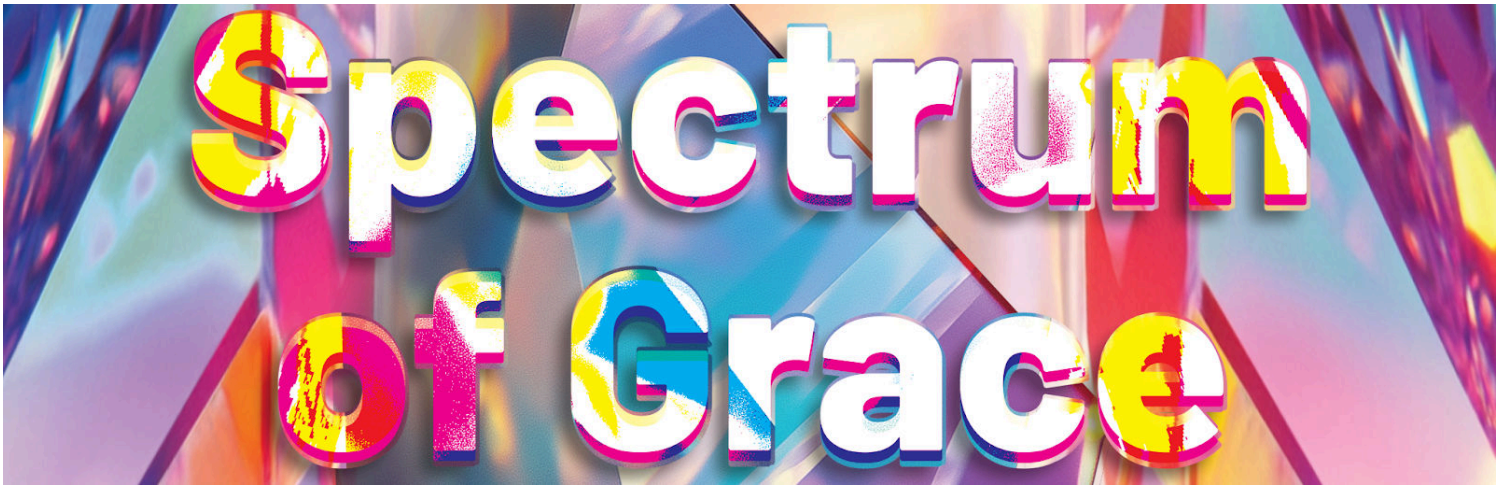


Week of September 28, 2025 - Tell Me What You See　　Small Group Lesson 6

知り合う

食事を一緒にしたり、あたたかく迎えてもらったりといった、ちょっとしたおもてなしが心に残ったことはありますか？その結果、どのようなことが起こりましたか？

聖句　エフェソの信徒への手紙 2:11-22（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

11 だから、心に留めておきなさい。あなたがたは以前は肉において異邦人であり、いわゆる手による割礼を身に受けている人々からは、割礼のない者と呼ばれていました。12 その時、あなたがたはキリストなしに生き、イスラエルの国籍とは無縁で、約束の契約についてはよそ者で、世にあって希望を持たず、神もなく生きていました。 13 しかし、以前はそのように遠く離れていたあなたがたは、今、キリスト・イエスにあって、キリストの血によって近い者となりました。 14 キリストは、私たちの平和であり、二つのものを一つにし、ご自分の肉によって敵意という隔ての壁を取り壊し、 15 数々の規則から成る戒めの律法を無効とされました。こうしてキリストは、ご自分において二つのものを一人の新しい人に造り変えて、平和をもたらしてくださいました。16 十字架を通して二つのものを一つの体として神と和解させ、十字架によって敵意を滅ぼしてくださったのです。 17 キリストは来られ、遠く離れているあなたがたにも、また近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせてくださいました。 18 このキリストによって、私たち両方の者が一つの霊にあって、御父に近づくことができるのです。19 ですから、あなたがたは、もはやよそ者でも寄留者でもなく、聖なる者たちと同じ民であり、神の家族の一員です。 20 あなたがたは使徒や預言者から成る土台の上に建てられています。その隅の親石がキリスト・イエスご自身であり、 21 キリストにあって、この建物全体は組み合わされて拡張し、主の聖なる神殿となります。 22 キリストにあって、あなたがたも共に建てられ、霊における神の住まいとなるのです。

簡潔に内容をもう一度確認してください。どのような励ましや挑戦、慰めなどを与えられますか？

学び

今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

1. 11～12節において、異邦人の過去はどのような言葉で描写されていますか？ 信者がこれらの否定的な過去を「思い出す」ことが重要なのはなぜでしょうか？ そのことによって、私たちが「キリストの血によって近い者となった」ことへの感謝は、どのように深まりますか？

2. 14～16節によると、イエスは平和をもたらしただけでなく、「私たちの平和」そのものでもあります。どのように、そうなのでしょうか？ また、イエスが打ち壊された「隔ての壁」とは何であり、それがどのようにして「一人の新しい人」へと導かれたのでしょうか？

3. 19～22節では、パウロは「神の民からの分離」から「神の民となること」へと語りを移しています。 このことは、教会としての私たちのアイデンティティと目的について何を教えているのでしょうか？また、キリストが「親石」であるとは、どういう意味でしょうか？

4. バベルの人々は「そうして、われわれの名を上げよう。」と望みました（創世記11章4節）。その結果、彼らは分裂し、滅びへと向かいました。 一方、今日の教会は神の御名をあがめるために建てられています。その目的に心を向け続けることは、教会を不一致から守るうえでどのような助けとなるでしょうか？ また、実際に一致を促すものや活動にはどのようなものがあるでしょうか？

分かち合い

話し合い　その１：
ジェシー牧師は、「神の家が生きているためには、私たちが『現れる（show up）』ことが必要だ」と語り、それはキリストが私たちのために『現れてくださった』ことを映し出していると話しました。 では、今週、教会の中や外で「現れる」とは、具体的にどのような行動を指しますか？ そして、その後に続くべきことは何でしょうか？

話し合い　その2：
イエスの宣教は、食事の交わりを通して福音宣教、奉仕、受け入れ、そしてもてなしに満ちていました。 そのような交わりを通して、互いの間にある壁が取り除かれ、神が私たちの間でなされていることを「見る」ことができます。私たちは、周りの人々をどのように招くことができますか？

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。